

工期短縮

手早く設置して負担を軽減させたい

従来のコンクリート基礎を設置する場合、配筋→型枠設置→コンクリート打設→型枠解体等の工程を経るため、数日間基礎を設置することは難しいことでした。更に市街地の既存ビルの場合、アンカーの設置やコンクリートの打設時等に、騒音の発生・ビル内の養生・周辺道路の交通等への対策が必要となり、主として休日を中心とした工程を組まざるを得ず、工期が長くなることは避けられません。ベルベースの設置は、工場生産の既製品をアンカーボルトで固定するだけで数日間の工期で完了します。そのため施工の環境や条件が厳しく、休日しか施工日を得られない場合にも柔軟な対応が可能です。



全体工期の短縮

空調機器、受電機器、太陽光発電システム等の設置工事で、当初工程である基礎設置で工期短縮が可能となるため、後工程に余裕が生まれます。

漏水事故率の低下

短工期では降雨に遭遇する機会が減るため、漏水事故の発生率が減少します。また、既製品を設置する乾式工法のベルベースは設置直後の防水施工が可能となり、漏水事故が大きく減少します。

管理経費の低減

ベルベースは短工期での設置が可能のため、基礎設置工事に対する管理経費が低減されます。

基礎頭部への穿孔が不要

従来のコンクリート基礎の場合、設備用架台の設置に先立ちコンクリート基礎の頭部を穿孔しアンカーボルトを設置する必要があります。ベルベースは、この架台用アンカーボルト設置の工期と費用が不要となります。

DRY 乾式工法

これまでの複雑な工程を省くことができる「乾式工法」ベルベース

ベルベースは、品質管理された工場生産品を現場で取付ける「乾式工法」で設置します。この乾式工法は、従来の湿式工法(コンクリート基礎)に比べ安定した品質、短工期、省力化、軽量化等の優れた長所を發揮します。

ベルベース(乾式工法)



工場生産品を設置

工法比較

	乾式工法(ベルベース)	湿式工法(コンクリート)
完成品の品質	安定	不安定
仕上がり精度	高い	低い
標準化	容易	複雑
養生期間	極短い	長い
工期	短い	長い
作業員の技量	依存小	依存大
施工時の天候	影響小	影響大

コンクリート基礎(湿式工法)



小規模工事では鉄筋工、型わく工を集めるのが大変



小規模工事ではコンクリートの揚重が大変



小規模工事の小型構造物では機械を用いた締固めが面倒



手直しが発生しやすい。更に頭部へアンカーボルト穴の穿孔が必要